

保育学生が絵本リスト作成時に用いるキーワードの分析 - 「三びきのやぎのがらがらどん」に付されたキーワードから考える -

森木 朋佳

A Study of keywords From "The Three Billy Goats Gruff" Chosen by Child Studies Majors

Tomoka Moriki

本研究は、保育者や保育者養成課程にある学生がキーワードすなわち件名で検索可能な「保育のための絵本データベース」を作成するにあたり、「三びきのやぎのがらがらどん」に付されたキーワードを収集することで、どのようなキーワードが利用されているのかについて明らかにしようとしたものである。

学生が作成した絵本リストから抽出されたキーワードには、「三びき」や「がらがらどん」といった絵本のタイトルや登場人物や登場する生き物に関するキーワードが多く含まれており、話の内容を端的に示した「はしをわたる」「太りにいく」などのキーワードが含まれていた。話の内容から絵本を検索する場合には、頻出するキーワードが用いられること、これらのキーワードを組み合わせた情報から検索される可能性があることが示唆された。

Key Words: [三びきのやぎのがらがらどん] [キーワード] [絵本リスト]
[絵本データベース]

(Received September 23, 2020)

はじめに

鹿児島純心女子短期大学生活学科こども学専攻は、いわゆる保育者養成課程を有しており、保育者を目指す学生が在籍している。筆者は保育者養成に掛かる科目を担当しているが、その中の「絵本の読み聞かせ」の授業で¹⁾、「絵本リスト」の作成に取り組んでいる。幼稚園や保育所等の保育の場では、日常的に絵本の読み聞かせが行われている²⁾。また保育所での実習に参加した学生が経験する実習内容の中でも、圧倒的に多いのが絵本の読み聞かせである³⁾。実際に保育実習では、朝の集まりの活動時、午睡の前や降園活動時など生活の流れの中の様々な場面で読み聞かせをする機会があり、場面に合わせて絵本を選定するには、たくさんの絵本に触れておくのが望ましい。ところが絵本のタイトルや作者を正確に覚えておくという作業はかなり意識的に行わなければ難しい。実際には、就学前後の子どもや学生がタイトルや作者を覚えていない絵本を探す際、「やぎとトロルが出てきて、対決する」「長いなまえの男の子で、学校

* 鹿児島純心女子短期大学生活学科こども学専攻 (〒890-8525 鹿児島市唐湊4丁目22番1号)

にいくお話」のように、絵本の中に出てくる登場人物や生き物、行動、季節といった情報を手掛かりに絵本を探そうとする姿があるが、登場人物や季節、印象に残った場面などの情報だけでは目当ての絵本に辿り着けないこともある。こうした課題の解決方法のひとつとして取り組み始めたのが、絵本リストの作成である。絵本リストは、読んだ絵本を記録していくものであるが、記録する際に、タイトル・作者・絵といった書誌情報に加えて、キーワードすなわち件名を合わせて記録する。前出の授業では、授業者がMicrosoft® Excel for Macで作成したワークシートに指定された情報を入力するようにしている。また、学生は絵本を100冊程度読むこと、それらを記録することが求められる。

ところで、件名で絵本を検索するという発想は決して新しいものではない。東京子ども図書館では「絵本の森へ 児童図書館基本蔵書目録1」を作成し、1950年代から2010年12月までに刊行された絵本の中から1157冊を掲載している。また、佐々木（2000）は、6つの主題とその下に設定された280の主題で構成される「子どもの心を理解するための絵本データベース」を既に構築している。

佐々木（2000）の示す絵本のデータベースは、1999年9月の時点で2100冊が登録され、実際に運用可能なものとなっているだけでなく、280の主題から5件まで主題の複合検索ができる上に、「最終的には1万点くらいは入力したい⁴⁾」とあるように新しい絵本が追加されることが期待できるため、非常に汎用性が高いのが特徴である。

しかし、このデータベースは、「子どもの心を理解するため」に構築されたものであり、保育者や保育者養成課程にある学生が保育場面で活用するために構築されたものではない。保育者や保育者養成課程にある学生は、日常の保育の中ですなわち朝の会や帰りの会で、あるいは活動の導入として絵本を利用することが多く、「何を読むのがよいか」という視点から絵本を検索することになる。森木（2017）は、佐々木（2000）で利用されている280の下位主題について、保育者養成課程にある学生を対象に保育場面で読む絵本を検索するためにどの程度下位主題を利用するかについて調査した。その結果、利用する可能性が高い主題とそうでない主題があることが明らかになった⁵⁾。利用目的が異なれば、検索に使用される主題やキーワードが異なると考えられ、保育学生が活用するためには、再構築する必要がある。

以上のような問題意識から、筆者は「保育学生のための絵本データベース」の構築を模索している。本稿では、学生によって作成された絵本リストを対象に、「三びきのやぎのがらがらどん」について、どのような大主題に分類されたか、どのようなキーワードが使用されているのかについて検討したい。

I. 絵本リストの概要について

絵本リストは、絵本のタイトル、作者、対象年齢、絵本の構造などの情報を一覧表にして記録したものがある。

図1は、令和2年度の授業で配布した絵本リストの形式である。10冊分は授業者が予めタイトルを入力し、データで配布した。図1に示したように、絵本リストの1行目には、入力する項目が予め指定されている。左から番号・タイトル・作者・絵・テーマ・季節・保育場面・キー

ワード1・キーワード2・キーワード3・構造・対象年齢・所蔵場所の13項目となっている。テーマ・季節・保育場面・構造・対象年齢・所蔵場所の7項目は、プルダウンリストから選択するようになっており、学生が実際に入力するのは、タイトル・作者・絵・キーワード1～3の6項目である。

項目ごとのプルダウンリストは、以下のように構成した。

テーマは、佐々木（2000）で用いられている大主題を利用し、「生活と自立」「自我・自己形成」「友達・遊び」「性格」「心」「家族」の6つとした。

季節は「春」「夏」「秋」「冬」「季節なし」の5つとした。

保育場面は、「朝の会」「帰りの会」「午睡前」「制作活動」「外遊び」「行事」「その他」の7つとした。

構造は、「繰返し」「物語（繰返しなし）」「物語（繰返しあり）」「その他」の4つとした。構造については、授業で具体的な絵本を取り上げ、「繰返し構造」と「物語構造」について説明した。

対象年齢は、「0歳～」「1歳～」「2歳～」「3歳～」「4歳～」「5歳～」の6つとし、下限を選択するようにした。

所蔵場所は、「短大図書館」「公立図書館」「家」「実習準備室」「その他」の5つとした。

| 番号 | タイトル | 作者 | 絵 | テーマ | 季節 | 保育場面 | キーワード1 | キーワード2 | キーワード3 | 構造 | 対象年齢 | 所蔵場所 |
|----|---------------|----|---|-----|----|------|--------|--------|--------|----|------|------|
| 1 | 三びきのやぎのがらがらどん | | | | | | | | | | | |
| 2 | おしくら・まんじゅう | | | | | | | | | | | |
| 3 | だるまさんが | | | | | | | | | | | |
| 4 | おおきなかぶ | | | | | | | | | | | |
| 5 | ぐりとぐら | | | | | | | | | | | |
| 6 | ぐるんぱのようちえん | | | | | | | | | | | |
| 7 | てぶくろ | | | | | | | | | | | |
| 8 | もこ もこもこ | | | | | | | | | | | |
| 9 | さんびきのくま | | | | | | | | | | | |
| 10 | すてきな三にんぐみ | | | | | | | | | | | |

図1 絵本リストの書式

Ⅱ. 令和元（平成31）年度・令和2年度の取り組み状況について

令和元（平成31）年度および令和2年度の取り組み状況を以下に示す。

絵本リストは、「絵本の読み聞かせ」の授業において学生に提示した。令和元（平成31）年度は120冊、令和2年度は100冊以上読みリストを作成し、前期の授業終了後授業者が指定する日までに、教育支援サイト（LMSシステムMoodle）を通じてデータで提出するよう指示した。

また、作成された絵本リストは、個人が特定されない方法で授業で利用したり、研究に利用したりすることを説明した。

また、授業では、絵本リストを作成する意義、設定されている項目の説明を行うとともに、予め10冊の絵本を指定し、11冊目以降の記録がスムーズに行われるようにした。

年度別の受講者数、絵本リストに記載された絵本の冊数等は、表1のとおり。

表1 年度別受講者数および絵本の冊数

| | R1(H31) | R2 |
|---------|---------|-------|
| 受講者数(名) | 67 | 63 |
| 平均(冊) | 124.1 | 168.9 |
| 最大(冊) | 221 | 1261 |
| 最小(冊) | 120 | 100 |

令和2年度は、2週間の休校期間があったり、予定されていた実習期間が変更になったりしたため、その期間を利用して絵本リストの作成に取組んだ学生が多く見られ、記録した絵本の冊数が1200冊以上となった学生もあった。記録された絵本の数が極端に多かった学生を除いた平均は156.5冊となり、令和元(平成31)年度と令和2年度では、学生の取組み状況に大きな差があった。

| 番号 | タイトル | 作者 | 絵 | テーマ | 季節 | 保育場面 | キーワード1 | キーワード2 | キーワード3 | 構造 |
|---------|-------------------|-----------|-----------|---------|------|------|--------|-----------|--------|-----|
| 1 | 三びきのやぎのがらがらどん | 北沢民話 | マーシャ・ブラウン | 自我・自己形成 | 春 | 午睡前 | やぎ | トロル | 橋 | 物語 |
| 2 | おしくら・まんじゅう | かがくい ひろし | かがくい ひろし | 友達・遊び | 季節なし | 午睡前 | まんじゅう | こんにやく | 納豆 | 繰返し |
| 3 | だるまさんが | かがくい ひろし | かがくい ひろし | 自我・自己形成 | 季節なし | 午睡前 | だるまさん | どてっ | にこっ | 繰返し |
| 4 | おおきなかぶ | A・トルストイ | さとう ちゅうりよ | 生活と自立 | 春 | 帰りの会 | かぶ | おじいさん | ねずみ | 物語 |
| 5 | ぐりとぐら | なががわ りえこ | なががわ りえこ | 生活と自立 | 秋 | 帰りの会 | 卵 | カステラ | 森 | 物語 |
| 6 | ぐるんぱのようちえん | みやうち みなみ | ほりうち せいいち | 自我・自己形成 | 夏 | 午睡前 | ぞう | ビスケット | こども | 物語 |
| 7 | てぶくろ | ウクライナ民話 | エウゲーニー・M・ | 自我・自己形成 | 冬 | 午睡前 | おじいさん | 犬 | てぶくろ | 物語 |
| 8 | もこ もこもこ | たにかわ しゅん | もとなが さだまさ | 友達・遊び | 季節なし | 午睡前 | もこ | によき | | 繰返し |
| 9 | さんびきのくま | ポール・ガルドン | ポール・ガルドン | 性格 | 春 | 帰りの会 | 大 | 中 | 小 | 物語 |
| 10 | すてきな三にんぐみ | トミー・アングラー | トミー・アングラー | 心 | 冬 | 午睡前 | 泥棒 | ティファニーちゃん | お城 | 物語 |
| (一部を省略) | | | | | | | | | | |
| 615 | がちゃがちゃどんどん | もとなが さだまさ | もとなが さだまさ | 友達・遊び | 季節なし | 午睡前 | 擬態語 | | | 繰返し |
| 616 | わたしの | ジーン・ホルゼン | ナンシー・タフリ | 生活と自立 | 季節なし | 制作活動 | 手 | 握手 | | 繰返し |
| 617 | アルどこにいるの | バイロン・パートン | バイロン・パートン | 友達・遊び | 季節なし | 帰りの会 | いぬ | 迷子 | 果物 | 繰返し |
| 618 | ぼんちんばん | かきのきはら まさ | かきのきはら まさ | 友達・遊び | 季節なし | 朝の会 | パン | ちぎる | しょくばん | 繰返し |
| 619 | まってね | やなぎ せつお | しんの めぐみ | 生活と自立 | 季節なし | 朝の会 | 挨拶 | あかちゃん | | 繰返し |
| 620 | あかたろうの1・2・3の3・4・5 | きたやま ようこ | きたやま ようこ | 生活と自立 | 季節なし | その他 | 電話 | おかあさん | カレー | 物語 |
| 621 | くつくつあるけ | はやし あきこ | | 生活と自立 | 季節なし | 外遊び | くつ | 音 | | 繰返し |
| 622 | ふーんふーんふーんふーん | レオン・オハラ | レオン・オハラ | 想像 | 季節なし | 朝の会 | ふーん | ふーん | ふーん | 物語 |

図2 学生の作成した絵本リストの例(部分)⁶⁾

図2は、令和2年度に提出された絵本リストの例(部分)である。図として示すため、学生の作成したデータの一部を表示し、セルのサイズを変更している。また、図3は、同じ時期に提出された絵本リストを用いて季節の項目の「冬」で検索した結果の一部である。複数冊の絵本が抽出されるとともに、タイトルからは「冬」が連想されない絵本が含まれている。

| 番号 | タイトル | 作者 | 絵 | テーマ | 季節 | 保育場面 | キーワード1 | キーワード2 |
|-----|------------------|------------|---------------|---------|----|------|--------|--------|
| 7 | てぶくろ | ウクライナ民話 | エウゲーニー・M・ラチョフ | 自我・自己形成 | 冬 | 午睡前 | おじいさん | 犬 |
| 10 | すてきな三にんぐみ | トミー・アングラー | トミー・アングラー | 心 | 冬 | 午睡前 | 泥棒 | ティフ |
| 16 | はなをくんくん | ルース・クラウス | マーク・シーモント | 心 | 冬 | 外遊び | 雪 | 花 |
| 32 | えんぎもん | あおやま ともみ | あおやま ともみ | 自我・自己形成 | 冬 | 行事 | めでたい商店 | 初詣 |
| 34 | おふろだ、おふろだ！ | わたなべ しげお | おおとも やすお | 生活と自立 | 冬 | 帰りの会 | くま | お風呂 |
| 48 | しろくまくんどこへ？ | ハンス・ド・ビア | ハンス・ド・ビア | 家族 | 冬 | 午睡前 | しろくま | かば |
| 62 | モチモチの木 | さいとう りゅうすけ | たきだいら じろう | 心 | 冬 | その他 | 豆太 | じさま |
| 64 | うんこ！ | サトシン | にしむら としお | 自我・自己形成 | 冬 | 帰りの会 | わんこ | ねずみ |
| 72 | いちごばたけのちいさなおばあさん | わたり むつこ | なかに ちよこ | 心 | 冬 | 朝の会 | いちご | おばあ |
| 73 | おおきくなりすぎたくま | リンド・ワード | リンド・ワード | 友達・遊び | 冬 | 帰りの会 | くま | ジョニ |
| 82 | かさじぞう | せた ていじ | あかば すえきち | 心 | 冬 | 帰りの会 | 編みがき | じぞう |
| 100 | ぶたたぬききつねねこ | ばば のぼる | ばば のぼる | 友達・遊び | 冬 | 行事 | しりとり | おひさ |

図3 検索結果の例⁷⁾

図3に示したように、個人が読んだ絵本を記録し、そこから絵本を探す方法としては、絵本リストの作成がある程度有効であるといえる。しかし、「キーワード」として入力される内容には、個人間で差があることが予想されるため、作成した本人以外が利用して、目当ての絵本に辿りつけるとは限らない。また、例えば本学の蔵書検索システムOPACに「やぎ トロル 対決」と入力しても、「三びきのやぎのがらがらどん」は検索されない。「保育学生のための絵本データベース」を構築するためには、学生が用いているキーワードすなわち件名を集約し、本学の蔵書の書誌情報等と紐づけていくことが必要である。

Ⅲ. 「三びきのやぎのがらがらどん」の場合

ここでは学生が絵本リストに記録する際に、「三びきのやぎのがらがらどん」について、各項目にどのような情報を付したかを検討する。

令和元（平成31）年度および令和2年度に提出された絵本リストでは、読んでほしい絵本として授業者が10冊分を指定した。「三びきのやぎのがらがらどん」はそのうちの1冊で、「絵本の読み聞かせ」の授業の教科書ともなっている。

【対象】

提出された絵本リスト130件のうち、ファイルが開けないもの、「三びきのやぎのがらがらどん」について情報が記録されていないものを除く122件を対象とした。

【結果】

予め選択肢が定められた項目のうち、「テーマ」「季節」「保育場面」「対象年齢」と、学生が記入した「キーワード」について報告する。

■ 選択肢が定められた項目について

項目ごとに集計した結果を、表2～表5に示す。

表2 テーマ

| テーマ | 出現数 | % |
|---------|-----|------|
| 心 | 7 | 5.7 |
| 生活と自立 | 22 | 18.0 |
| 自我・自己形成 | 55 | 45.1 |
| 友達・遊び | 9 | 7.4 |
| 家族 | 4 | 3.3 |
| 性格 | 23 | 18.9 |
| 未入力 | 2 | 1.6 |
| 合計 | 122 | |

表3 季節

| 季節 | 出現数 | % |
|-----|-----|------|
| なし | 73 | 59.8 |
| 春 | 37 | 30.3 |
| 夏 | 3 | 2.5 |
| 秋 | 7 | 5.7 |
| 冬 | 1 | 0.8 |
| 未入力 | 1 | 0.8 |
| 合計 | 122 | |

テーマでは、6つの主題のうち「自我・自己形成」が55件（45.1%）, 「性格」23件（18.9%）, 「生活と自立」22件（18.0%）となった。

季節では、「季節なし」73件（59.8%）, 「春」37件（30.3%）となった。

表4 保育場面

| 保育場面 | 出現数 | % |
|------|-----|------|
| 行事 | 3 | 2.5 |
| 帰りの会 | 57 | 46.7 |
| 朝の会 | 5 | 4.1 |
| 午睡前 | 5 | 4.1 |
| その他 | 49 | 40.2 |
| 制作活動 | 3 | 2.5 |
| 未入力 | 0 | 0.0 |
| 合計 | 122 | |

表5 対象年齢

| 対象年齢 | 出現数 | % |
|------|-----|------|
| 0歳 | 0 | 0.0 |
| 1歳 | 0 | 0.0 |
| 2歳 | 1 | 0.8 |
| 3歳 | 27 | 22.1 |
| 4歳 | 76 | 62.3 |
| 5歳 | 17 | 13.9 |
| 未入力 | 1 | 0.8 |
| 合計 | 122 | |

保育場面では、「帰りの会」57件（46.7%）, その他49件（40.2%）となった。

対象年齢では、3歳以上とするものが120件（98.4%）となり、4歳以上としたものが最も多い結果となった。

表6 キーワードの群別の集計

| 第1群 | | 第2群 | | 第3群 | |
|------------------|-----|-------------|-----|--------------------|----|
| 1 動物 | 4 | 動物 | 1 | お遊戯会 | 1 |
| 2 動物(やぎ) | 1 | 3匹 | 2 | 劇 | 1 |
| 3 やぎ | 51 | 三匹 | 1 | 動物 | 1 |
| 4 ヤギ | 10 | さんびきの | 1 | 3匹 | 1 |
| 5 ヤギ3匹 | 1 | 3匹のヤギ | 1 | 三匹 | 1 |
| 6 3匹のやぎ | 1 | 3匹のやぎ | 2 | 3びきやぎ | 1 |
| 7 3匹のヤギ | 1 | ヤギ | 2 | 三匹のやぎ | 1 |
| 8 三匹のやぎ | 5 | やぎ | 4 | さんびきのやぎ | 1 |
| 9 三匹のヤギ | 2 | がらがらどん | 4 | 中ぐらいのやぎ | 1 |
| 10 三匹のやぎ(がらがらどん) | 1 | 順番 | 1 | 真ん中やぎ | 1 |
| 11 三匹のがらがらごん | 1 | 大中小 | 2 | おおきいやぎ | 1 |
| 12 がらがらどん | 12 | 大きいやぎ | 1 | おおきいやぎ | 1 |
| 13 いちばんちいさいやぎ | 1 | 大きい | 1 | 大きなヤギ | 1 |
| 14 ちいさいやぎ | 2 | 小さいやぎ | 1 | 大きな | 2 |
| 15 小さなヤギ | 1 | 中ぐらいのヤギ | 1 | 大きい | 1 |
| 16 小さいやぎ | 1 | ちゅうぐらいのやぎ | 1 | がらがらどん | 1 |
| 17 大きな | 1 | にばんめやぎ | 1 | 山羊 | 1 |
| 18 大小 | 1 | オバケ | 1 | やぎ | 2 |
| 19 大中小 | 1 | 化け物 | 2 | 大中小の概念 | 1 |
| 20 大中小がある | 1 | ばけもの | 1 | 小中大 | 1 |
| 21 トロル | 13 | トロル | 48 | 兄弟 | 2 |
| 22 悪者 | 1 | トロール | 1 | 仲間 | 1 |
| 23 山 | 1 | とろる | 2 | 家族 | 1 |
| 24 草を食べにいく | 1 | トロる | 1 | 時間 | 1 |
| 25 協力 | 1 | トロロ | 2 | 順番 | 1 |
| 26 橋 | 2 | トロルと争う | 1 | 冒険 | 1 |
| 27 ノルウェーの昔話 | 1 | 悪者 | 1 | 戦い | 3 |
| 28 絵本の捲り方 | 1 | 戦う | 1 | 闘う | 1 |
| 29 34ページ | 1 | 戦い | 1 | 立ち向かう | 1 |
| 30 時間 | 1 | 冒険 | 2 | 機転 | 1 |
| 31 | 122 | 勇気 | 1 | 強い | 1 |
| 32 | | 怖い | 2 | 勇気 | 1 |
| 33 | | 絵が怖い | 1 | 友情 | 1 |
| 34 | | ハラハラドキドキ | 1 | トロるに勝つ | 1 |
| 35 | | はし | 2 | トロル | 8 |
| 36 | | 橋 | 10 | トロール | 1 |
| 37 | | 橋を渡る | 1 | 怪物、鬼 | 1 |
| 38 | | 谷 | 1 | 悪者 | 2 |
| 39 | | 山 | 1 | 怖い | 2 |
| 40 | | でんがくざし | 1 | 恐ろしい | 1 |
| 41 | | ひかきぼう | 1 | 逃げる | 1 |
| 42 | | おっとたべないでくれよ | 1 | 橋 | 25 |
| 43 | | 誰だ | 1 | はし | 3 |
| 44 | | がたん | 1 | 橋の上 | 1 |
| 45 | | 昼 | 1 | 橋を渡る | 3 |
| 46 | | 兄弟 | 1 | 森 | 1 |
| 47 | | 友達 | 1 | 山 | 9 |
| 48 | | めくるタイミング | 1 | やま | 2 |
| 49 | | | 120 | 太る | 1 |
| 50 | | | | 太りに行く | 1 |
| 51 | | | | 草 | 1 |
| 52 | | | | がらがらどんはたくさん草を食べる | 1 |
| 53 | | | | 個性 | 1 |
| 54 | | | | 自然 | 1 |
| 55 | | | | ノルウェー | 1 |
| 56 | | | | 繰り返し構造 | 1 |
| 57 | | | | 読み方に工夫 | 1 |
| 58 | | | | 32 | 1 |
| 59 | | | | 4分 | 1 |
| 60 | | | | チョキン、パチン、ストン | 1 |
| 61 | | | | ふみくだくぞ | 1 |
| 62 | | | | 一飲みにしてやろう | 1 |
| 63 | | | | ごどん | 1 |
| 64 | | | | おれだ、おおきいやぎのがらがらどんだ | 1 |
| 65 | | | | きさまをひとのみにしてやるぞ | 1 |
| 66 | | | | ひかきぼう | 1 |
| 67 | | | | ひとのみ | 1 |

118

■ キーワードについて

絵本リストではキーワードを記入する欄を3つ設けている。キーワードを集計するにあたっては、「キーワード1」の欄に記入されたものを、第1群、「キーワード2」を第2群、「キーワード3」を第3群として取り扱った。また、群ごとに出現したキーワードをグループ化し分類した。

表6は、出現したキーワードを集計しなおしたものである。明らかに誤入力と考えられるものも、本来の表記に訂正せずそのまま集計したところ、第1群122個、第2群120個、第3群118個の計360個のキーワードが出現した。

また、表記の差を含めてカウントした場合のキーワードの種類は、第1群では30種類となり、「やぎ」(51)、「トロル」(13)、「がらがらどん」(12)、「ヤギ」(10)の順に多くなった。第2群では48種類のキーワードが出現し、「トロル」(48)「橋」(10)の順に多くなった。第3群では68種類のキーワードが出現し、「橋」(25)「山」(9)「トロル」(8)の順に多く出現した。

図4は、同じまたは似た意味で使用されていると推測されるキーワードをグループ化したものである。例えば、「やぎ」「ヤギ」「ヤギ3匹」「3匹のやぎ」「3匹のヤギ」などは、表記は異なるが同じまたは似た意味で使用されているものとして取り扱った。グループ化したものをさらに集約し、カテゴリー化を試みた。

その結果、図4の上から「やぎ」「目的」「テーマ」「場所」「トロル」「絵本の情報」の6つのカテゴリーに分類された。また、第1群と第3群には上記の6つのカテゴリーが全て出現し、第2群は「目的」のカテゴリーに当てはまるものは出現しなかった。

「やぎ」のカテゴリーに属するキーワードは、第1群に99個出現したが、第2群、第3群では、3分の1から4分の1程度しか出現しなかった。これに対し、「トロル」のカテゴリーに属するキーワードは、第2群に59個と最も多く出現し、第1群、第3群には12個しか出現しなかった。

「テーマ」「場所」「絵本の情報」のカテゴリーに属するキーワードは、第1群から第3群の順に増加する傾向が見られた。

Ⅳ. 考察

「三びきのやぎのがらがらどん」は、「いちばんちんさいやぎ」,「二ばんめやぎのがらがらどん」,「おおきいやぎのがらがらどん」が登場し,「おおきなトロル」が住んでいる橋を渡る場面が繰り返される絵本である。「絵本の森へ 児童図書館 基本蔵書目録1」では,「三びきのやぎのがらがらどん」の項目に以下のように記載されている⁸⁾。

「名前はどれも『がらがらどん』という3匹のヤギが,山の草場へ出かけていくと,途中の谷川の橋の下に恐ろしいトロルがいて……。単純明快な始まり,3度のくり返し,クライマックス,大団円と典型的な昔話の構成。北欧の魅力を伝える力強いタッチの迫力のある絵。」

ここでは,「絵本の読み聞かせ」の授業を受講した学生の絵本リストの内容について,予め選択肢が準備された項目と,「キーワード」について検討する。

■ 選択肢が準備された項目について

この作品について学生は,テーマでは,6つの主題のうち「自我・自己形成」,「性格」,「生活と自立」に分類していた。作品には,大きさも性格も違うヤギが登場するが,「性格」よりも「自我・自己形成」が多く選択されていたのは,ヤギとトロルが対決するシーンが登場することによるものと考えられる。

季節については「季節なし」を選択した学生が最も多く,ついで「春」が多い結果となった。これは,絵から特定の季節の情報を読み取ることが難しかったためであると考えられる。「やまの くさばで ふとろうと, やまへ のぼっていきました。」の一文からは,山の草場に出かけていくことはわかるが,確かに冬に備えてなのか,厳しい冬の後に食料を求めてなのか,あるいはおなかすいて草を食べようとしているのかを,はっきり読み取ることはできない。したがって,学生たちは,季節を特定せずに利用できる絵本と捉えたものと考えられる。

保育場面では,「帰りの会」が最も多く選択されており,次いで「その他」となった。「季節」と同様に,特定の季節や行事,活動を感じさせる内容でなかったため,「帰りの会」とした学生が多かったものと考えられる。「季節」「保育場面」から,「三びきのやぎのがらがらどん」は,1年をとおして様々な場面で読み聞かせができる絵本と捉えられているといえる。

対象年齢では,98.4%の学生が3歳以上に分類しており,その中でも4歳以上としたものが62.3%と最も多かった,これは,絵本の背表紙に「読んであげるなら4才から」の表記があり,それを参考にしたためと考えられるが,3歳以上としたものも一定数あり,「三びきのやぎのがらがらどん」の話の長さ,繰り返しを伴う構造を持つことから,3歳以上とした可能性もある。対象年齢の捉え方については,他の絵本をどのように位置付けているかを検討する必要がある,今後の検討課題としたい。

■ キーワードについて

キーワード1～3について分析し、カテゴリー化を試みたところ、図4のように分類された。

第1群から第3群のいずれにも、「やぎ」や「トロル」を示すキーワードが出現した。また、出現したキーワードの個数は、第1群、第2群、第3群ともに120個程度となり、差はなかったが、出現するキーワードの種類は、第1群、第2群、第3群と進むにつれ、増加する傾向があった。

第1群から第3群のいずれにも、「やぎ」や「トロル」を示すキーワードが出現したことから、登場人物や登場する生き物は、検索する際の大きな手がかりとなることが示唆された。

キーワードは絵本リストの構成から、「キーワード1」「キーワード2」「キーワード3」の順に付されたものと考えられるため、「キーワード1」すなわち第1群に最も多く含まれるキーワードで検索されることが多いと考えられる。それぞれのキーワード群で多く出現したキーワードは、先に引いた「絵本の森へ」での「三びきのやぎのがらがらどん」の説明に使用されている言葉のうち、「がらがらどん」「3匹のヤギ」「山」「谷」「橋」「恐ろしい」「トロル」を含んでおり、学生による絵本リストに含まれる「キーワード」は、この絵本についてはある程度妥当なキーワードが付されていることが明らかになった。

ここではさらに、出現したキーワードが検索に用いられる場合について検討したい。

第1群から第3群へと進むにつれて、「テーマ」「場所」「絵本の情報」の情報を含むキーワードが多く出現するようになること、同じ第1群から第3群へと進むにつれて、キーワードの種類が増加することから、例えば『やぎ（第1群）』と『トロル』が出てきて、『立ち向かう（第3群）』お話のように、第1群から第3群に出現するキーワードを組み合わせることによって、より目当ての絵本にたどり着きやすくなるものと考えられる。キーワードの種類が複数となったことから、引き続きキーワードを収集していくことで、検索の精度が上がるものと期待できる。

キーワードを組み合わせる絵本を検索する方法は、実際に子どもたちが読んでほしい本を説明する姿と似ている。キーワードをさらに収集していくことや、子どものキーワードを収集していくことで、保育の場でより活用される絵本リストとなるものと考えられる。

おわりに

特定の絵本に付されたキーワードを収集することを通して、現在取り組んでいる「絵本リスト」の手法の妥当性が確認された。また、個人のリストとして作成されたものであっても、それらを集約していくことで、データベースとして運用可能なものとしてできる可能性が示唆された。

筆者の最終的な目標は、「保育者のための絵本データベース」を構築することにある。キーワードの集約方法やその妥当性など、今後検討すべき課題は多く、今回検討したのは、「三びきのやぎのがらがらどん」1冊のみであるが、絵本データベースを構築するための手法について検証できたことを成果としたい。

今後、絵本に付される「キーワード」を収集し集約し、例えば本学の図書館の書誌情報と紐付けしていくことで、データベースとして運用可能なものとしていきたい。合わせて、学生や保育者が個人の嗜好や経験ではたどり着けない絵本と出会い、それを子どもたちに伝えていけるよう検討を続けていきたい。

【註】

- 1) 2年前期配当科目、演習1単位の科目で、平成30年度以前の旧課程では「絵本の読み聞かせ」の名称で「保育の表現技術」の系列、令和元（平成31）年度以降の新課程では、「保育内容（言葉）の指導法（絵本の読み聞かせ）」として「保育の内容・方法に関する科目」の系列に配当されている科目である。本稿では「絵本の読み聞かせ」と示す。
- 2) 鹿児島市内でも読み聞かせ活動の団体がたくさん報告されている。
- 3) 例えば、筆者は保育実習指導Ⅰなどの保育実習に関する科目も担当しており、実習後にどのような内容を実習中に経験することができたかについて調査している。平成27～31年の5年間では、「指あそび・手あそび」「絵本の読み聞かせ」「ピアノ伴奏」が上位となり、特に「絵本の読み聞かせ」は8割以上の学生が経験したと回答している。出典は「保育実習連絡会資料」平成28（2015）～平成31年（2019）による。
- 4) 佐々木宏子「絵本の心理学 子どもの心を理解するために」新曜社（2000） p. 40 1.2
- 5) 森木朋佳「学生の検索ワードに着目した絵本データベース作成の試み」『鹿児島純心女子短期大学研究紀要』第47号（2017）
- 6) 学生が作成した絵本リストの一部。1行目には、入力する項目が指定されている。左から番号・タイトル・作者・絵・テーマ・季節・保育場面・キーワード1・キーワード2・キーワード3・構造・対象年齢・所蔵場所の13項目となっている。
- 7) 季節「冬」で検索した結果の一部。令和2年度に提出された絵本リストのうち、200冊以上の絵本が記録されたデータ13件の絵本リストから1つ選んで検索した。
- 8) 東京子ども図書館（2012）「絵本の庭へ（児童図書館 基本蔵書目録1）」P. 161, 右, 上

【引用・参考文献】

佐々木宏子「絵本の心理学 子どもの心を理解するために」新曜社（2000）

森木朋佳「学生の検索ワードに着目した絵本データベース作成の試み」『鹿児島純心女子短期大学研究紀要』第47号（2017）

東京子ども図書館（2012）「絵本の庭へ（児童図書館 基本蔵書目録1）」

アスビョルンセン、モー（再話）、せたていじ「三びきのやぎがらがらどん - アスビョルンセンとモーによるノルウェーの昔話」（福音館書店）（1964）

